

「2004年4月から2011年12月までに川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けた患者さんへのお知らせ」

研究課題名：「非小細胞肺癌における術後補助化学療法の効果予測因子としての COX-2 発現の意義」

当教室では、2004年4月より2011年12月までに、川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され、手術およびそれに引き続いての抗癌剤治療を受けた患者さんについて、肺癌に COX-2 という物質が現われていると、抗癌剤治療の結果にどう影響するかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、肺癌におけるCOX-2を調べることにより、抗癌剤治療の薬剤選択などに役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はPETなどの画像および手術標本を再評価し、カルテからのデータを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では教員研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

この研究に対する説明を御希望の方は、問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[問い合わせ先] 川崎医科大学 呼吸器外科学 准教授 清水克彦

1. 電話：086-462-1111 内線 25519
2. FAX：086-464-1124
3. 電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp